

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科		国語	科目 論理国語	
教科：国語	科目：論理国語	単位数：	1	単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組				
教科担当者：（1 組：渡邊）（2 組：倉田）（3 組：内尾）（4 組：倉田）（5 組：飯島）（6 組：飯島）（7 組：内尾）（8 組：渡邊）				
使用教科書：（「精選論理国語」東京書籍）				
教科 国語		の目標：		
【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。				
【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。				

科目 論理国語		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学期	「相手依存の自己規定」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の論理構成を的確に捉えさせ、論点を明確にしながる要旨を把握させる。 【学びに向かう力、人間性等】 筆者の意見と具体例の関連性を理解し、身近な例を整理・分析して自分の考えをまとめさせ、効果的な伝え方を考えさせる。	・指導事項 日本とアメリカの学生の考え方の違いを読み取る。 日本人の自我の構造の特色を、実際の事例や欧米人との比較を通して理解する。 一人称・二人称代名詞の例を調べ、自己把握とどのように関わっているかをまとめ、発表する。 ・教材 教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の論理構成を的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 筆者の意見と具体例の関連性を理解し、身近な例を整理・分析して自分の考えをまとめ、効果的な伝え方を考えている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
2 学期	「『である』ことと『する』こと」 【知識及び技能】 用語の意味を捉えさせるとともに、語感を磨き語彙を豊かにさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 用語の意味を捉えさせ、情報の妥当性や信頼性の吟味をさせ、適切な具体的根拠をそろえさせ、これからの科学技術のあり方について自分の立場や論点を明確にして論じさせる。	・指導事項 具体例と筆者の主張との関係に注意しながら、文章の構成を理解する。 筆者が挙げている具体例を整理し、「である」論理・価値と「する」論理・価値をまとめる。 「意味の問い」「情報の問い」を意識しながら質問を考える。 ・教材 教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 用語の意味を捉えさせるとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 用語の意味を捉えさせ、情報の妥当性や信頼性の吟味をさせ、適切な具体的根拠をそろえさせ、これからの科学技術のあり方について自分の立場や論点を明確にして論じている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○		1
	「ミロのヴィーナス」 【知識及び技能】 ミロのヴィーナスの美と、両腕の欠落との関係について理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の内容を筆者の表現の工夫から捉え直し、その効果についての考えを明確にさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んでミロのヴィーナスの美と両腕の欠落との関係について理解を深めさせ、筆者の表現の工夫という視点から考察した内容を積極的にまとめさせる。	・指導事項 ミロのヴィーナスの美と両腕の欠落の関係について、筆者の考えを理解する。 筆者独特の表現や感覚的な表現について、わかりやすく説明する。 手の象徴的な意味をおさえた上で、筆者の考えをまとめる。 ・教材 教科書、ワークシート、便覧 ・一人1台端末の活用			○	【知識・技能】 ミロのヴィーナスが魅惑的であるということと、両腕が失われていることとの関係について理解を深めている。 【思考・判断・表現】 文章の内容を筆者の表現の工夫という視点から捉え直し、その効果について考えたことを明確にしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んでミロのヴィーナスの美と両腕の欠落との関係について理解を深め、筆者の表現の工夫という視点から考察した内容をまとめようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
										合計
										35